

参考報乙集四十號

滿洲時報 第六號

五月十七日 課

目次

一 邦人の状況

二 軍隊の状況

三 邦人の状況

一 邦人の状況

一 現在葫蘆島に集結してゐる邦人は米四萬（大部は老幼婦女子）であるが奉天以南の日本の勢力下に入つた地域には約四十萬人かゝる様であり毎日は約五千人の餓死が逐次葫蘆島に多結中である

右に附し米軍當局は六月二十三日迄に之等四十萬人を葫蘆島に集結せしめる餘兵を稱してゐるとの事であるが別の情報によれば五月初より奉天附近でまだ日本軍が交戦してゐる模様であるから相當其の困難は困難であらう

二 葫蘆島集結地に於ける生活状況

(イ) 中區餉の統制下に日倫府監理所と稱する機關を設け共同生活を營んでゐる

(ロ) 婦女子ハ行商(タバコ、雜貨、餘等) 男子は勞働(港灣荷役等) に

よつて生活資金を得てゐるかそれ等は全部共同で使用する

(ハ) 主食として粟、高粱一日約三〇〇百の配給あり副食は自給で購入する

(ニ) 全体の約一割が主として榮養失調、肺炎で死亡したがそのうち約八割は乳幼児であるその他は案外に元氣で傳染病は少い

又引換者の思惑狀況は一般に良好(比較的酷火の被害少かつた爲でもあらう)の模様であるに尹彦王氣には強烈な反對意見を持つてゐるやうである(ソ軍及びソ共を逐つてみた反動?)

外務省(錦州用第一〇〇料)では一般華人男子も死ど北滿ソ領方面へ移送された様である

(イ) 九月十二日二十才一四十五才の男子を列車で何處かへ送つた

(ロ) 九月十四日二十才一四十五才の男子(十二日に送られなかつた病

弱者一及び四十六才一四十九才の男子を阜新、平泉、義州方面に送り奉天で防塞線を敷きし更に北に送つた

（九月二十四日、二十五才一十九才の男子を奉天へ移送したが一月十日に釋放した

一その入送の語によると一日の食料は粟の搗飯一つの量さへあつたと

二、軍隊の状況

一、滿洲部隊は既報の請命勅の如くソ領方面に送られてゐる模様である

（註）新中東人非送の正数及び新中東隊出者が同地進出させる列車に日本軍隊を乗せたとの言等より綜合判断す

二、錦州、綏中、地處の軍は一旅六九三、營九四五、砲八六九、馬二、一八

〇四の二、四、五、一六、六、十五、一五、三五、三等一に一部飛行隊を以て林西

方面より進入したソ領方面部隊に對し攻撃を加へ主力は八月十三

日前後に夫々錦州、義州、平泉、義州方面に轉進して來た時（八月二十九日頃）には隊長が行つた様である

又併し之等部隊の擧進か即急に行はれた爲主力に遅れた者が或は現地
除隊した者か或は故郷に部隊より辭れた者か何れにせよ油膏の者が
現地に残つて取は置別取に扱は取付中共軍に扱はた様である又筆留
丸引携者中に兼西の九四五部隊の籍人終三〇〇名が混入してゐる様
である滿洲の特殊事情からして此の様を事はあり得る事であるか此
の邊の事情を曲解して其の無責任、無新制などと一部に噂されてゐ
るのである

参考情報乙第48號

滿洲 逐錄 第七號

五月二十八日
資料課

目次

一、葫蘆島の状況

二、「ソ」の出入に伴ふ各部隊の状況

三、在滿部隊の断片情報

一、葫蘆島の状況

葫蘆島（葫蘆島）は遼東を「ピンターランド」をする唯一の不凍港として一九〇一年（世宗）（當時の滿洲大總統）が築港を企圖して以來、幾多の變遷を経て最近特に滿洲國樹立後、滿鐵により吞併され、電力の供給を目標に工事が進められてゐた海港である。

この島は三つあるが第一、第二の二つは國府軍の揚陸に使用して居り、邦人引揚用としては未完である。第三の二つは國府軍の揚陸に使用して居り、邦人引揚用としては未完である。

ぬ)の第一種橋を第一第二種橋間とを使用してゐるだけである。内港水深約四米、棧橋の長さ約三〇〇米(LST船二隻に對し同時に搭載可能)で搭載所は同時に對し約一時間との事であるから港の全能力を發揮すれば一日一萬人送迎といふ中國側の計畫は可能である。

併し東西より胡盛島までの鐵道輸送が今の處一日無雙の列車二列車のみであり且つ棧橋から約六行の處にある臺灣鐵道會を利用した深浦若狭沼津の旅客能力等からして實は次の表の様で此の計畫は相當削減されるのではなからうか、但し船の方は一日一萬人の出入を目途として準備されてゐる。

臺灣鐵道會の甲種上級客は國籍別の旅行司令官が、永上級の客は米軍の憲兵司令官が夫々擔任してゐる。

乗客者には必ず乗査は國籍の乗客を偵察隊で行はれるが三としてみや中盤側の男女中學生が之に當つてゐて不正行為はないとの事である。

三、「ソ」軍の進入に伴ふ各部隊の戦況概観な状況は日より不明であるが、終戦直前（八月二十日頃）の部隊配置を基礎にし、當時の電報やその後得た断片的な情報とを綜合して一應別紙要圖の如き「ソ」軍の進入に伴ふ各部隊の戦況の判断をし、留守宅等の安否を合せて討する大まかな基盤を得る事にした。

三、在滿部隊の断片情報

一、滿洲第三七五五八部隊（昭二〇）、七路西にて（昭二〇）は終戦時臨時江（通化の東約八五村）にあり八月二十日現地（滿洲）召集の下士官以下は召集解散されたが、結局部隊は王力と共に「ソ」軍によつて收容された様である。

二、奉天北校俘虜收容所にあつた某部隊は連日長春に送られたがその後の状況は不明である。

府校には時行字を持たせたとの事である。

（註）

恐らく在滿部隊は「ソ」軍の撤退に伴ひ逐次「ソ」領へ移送されたものと思はれる。

奉天附近にあつた某大姓を長とする約二、〇〇〇名の日本軍は中
夫島に抗戦し國府軍に降服したとの事である

(註)

兵の他諸情報を綜合するに附随には相當数の日本軍隊や雇人が
依然活動してゐる様である

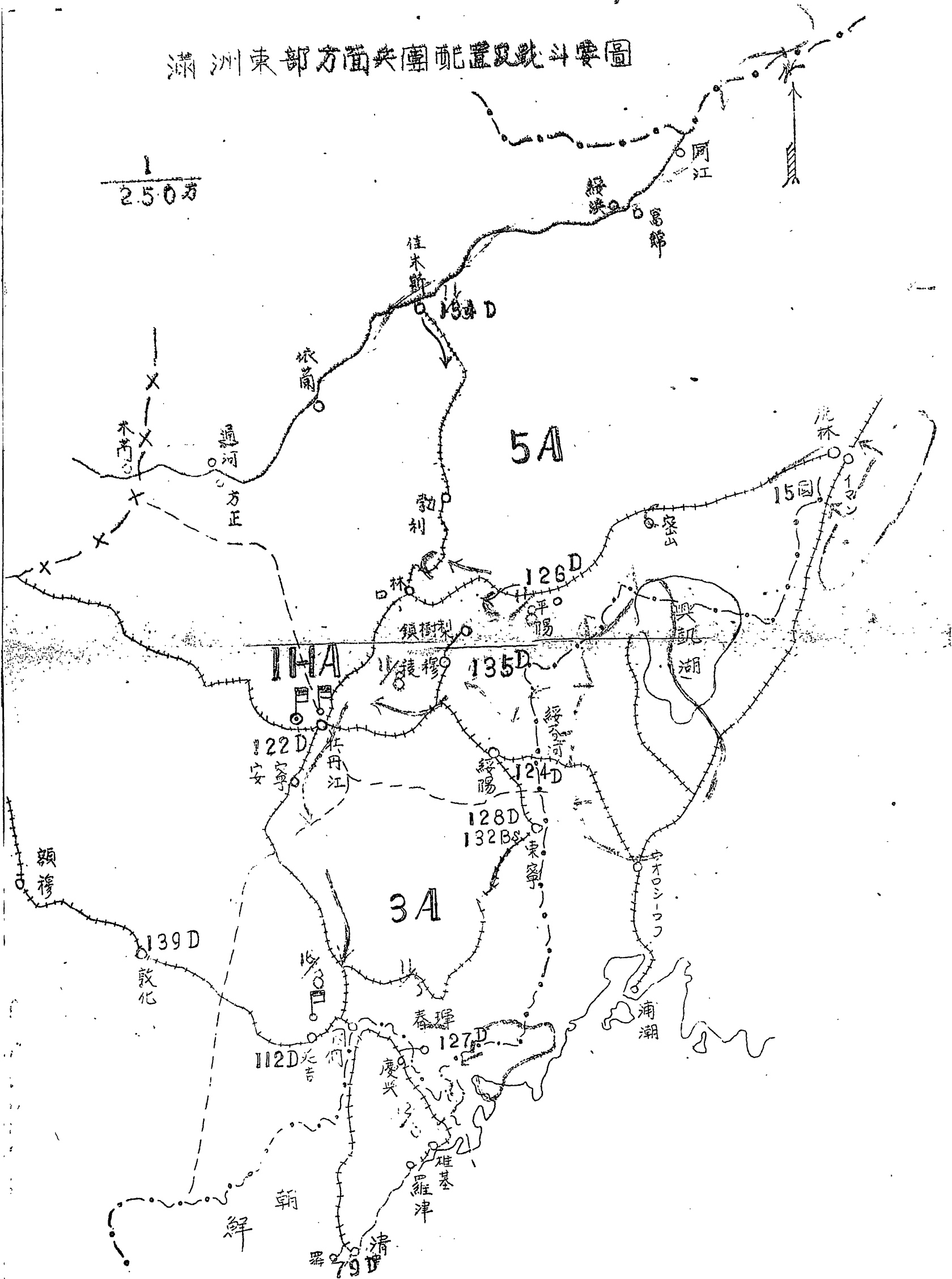
1410

口 口 島 引 揚 實 績 表 (5月11日~27日)

入港 月日	船名(船種名)	人 員	入港 月日	船名(船種名)	人 員	入港 月日	船名(船種名)	人 員
11/5	LST-27	1,263	17/5	白崎丸	1,319	21/5	種丸(名古屋港へ)	1,742
	LST-53	1,211		種丸	1,121	21/5	ESU-195	1,334
12/5	雲伯丸	1,200		CD-207	1,423	22/5	LST-90	1,334
	LST-33	1,273		GD-194	1,417	23/5	CD-33	1,416
	LST-50	1,164		高砂丸	1,714	23/5	ESU-53	1,416
	LST-60	1,263		CD-105	1,513	24/5	雲伯	1,637
13/5	CD-227	1,460		T-172	1,500	24/5	?	(13=2276)
14/5	LST-6	1,343		LST-1	1,324	21/5	計	40,682
	LST-60	1,320		CD-78	1,348			
15/5	LST-4	1,330		18/5	UD-176	1,300(乗)		
	GD-22	1,523	播州丸(第一)		1,578			
	GD-23	1,509	播州丸(第二)		1,352			
16/5	敷設産聯島	1,543	LST-77		1,381			
	運送産島	1,523	LST-3		1,437			
	八雲	1,346	橋	1,435				
	T-147	1,521	19/5	LST-39	1,439			
	白崎丸	1,622		GD-105	1,513			
	GD-27	1,496	20/5	CD-142	1,350			
17/5	北勝丸	1,142		T-137	1,649			
				GD-209	1,423			

滿洲東部方面兵團配置及戰鬥要圖

1
250万



滿洲及北鮮方面兵團概見表

方面軍	軍	兵團番號	通稱部隊名	所在地	交戦判断
	3 A (延吉)	112 D	(公) 15180 20317 20320 20362 20325 20374 20328 20376 20336 20378 20331 12966 20315 20366	延吉附近	一部交戦入
		127 D	(英邁) 15271 15274 13994	琿春附近	交戦
		128 D	(英武) 15281 15286 15282 15287 15283 15288 15284 15290 15285 13995	東寧附近	交戦
		132 Bs	(奮戰) 17523	" "	" "
5 A (牡丹江)		124 D	(遠謀) 15230 15219 15231 15220 15217 15221 15218 13991	綏芬河附近	交戦
		135 D	(真心) 25252	穆稜附近	交戦
		126 D	(英斷) 15251 13993 15252 15259 15254	平陽附近	交戦
		134 D	(奮勇) 25263	佳木斯附近	交戦
		15 國		烏林附近	監視、服
		122 D	(勇健) 12041 12020 12042 12017 12043 12019 12044 12018 12045 12021 12046 12022 12047 12023 12048 12024 12049 12025 12050 12026	佳木斯附近	交戦
		139 D	(不屈) 27301	敦化附近	交戦入

4 A (齊齊哈爾)	123 D	(松風) 15207 15211 15212	15213 15214 15215	孫吳附近	交戦
	135 Bs	(不朽) 37562		瑯瑯附近	交戦
	136 Bs	(奮躍) 37573		嫩江附近	交戦 ㄷ
	119 D	(宰) 20411 20462 20481 20415 20460 20496 20418 20495 20416	20498 12994 20491 20492 20493 20494 20458 12999	海拉爾附近	交戦
	80 Bs	(鋭鋒) 25285 25286 25287 25288 25289	25290 25291 25292 25293 25294		
	149 D	(不撓) 37341		齊齊哈爾附近	交戦 ㄷ
	3 K				
	131 Bs	(奮進) 37512		哈爾濱附近	交戦 ㄷ
444	107 D	(風) 20000 20008 20001 20002 20007 20006	20003 20021 20020 12062 18959	五叉溝附近	交戦 (激戦)
	117 D	(34) 1140 15622 1467 1468 1469 1470 15624 15631 15632	15625 15626 15627 15628 15629 1471 15630 1499	王爺廟附近	一部交戦

3HA (奉天) 張P338	(遼瀋) 63D	(碑) 2111 1104 2110 2113 2111 1125 1880 4205 4206	2111 2110 2113 2111 1125 1880 4205 4206	遼瀋附近	交戦セズ	
	9TKBs			洮安附近	交戦セズ	
	108D	(柁) 14055 20560 20570 20580 20100 20110 20120	20130 20150 20140 20170 20180 20160	承德附近	交戦セズ	
	134Bs	(舊廟) 37552				
	136D	(不板) 37217		本溪湖附近	交戦セズ	
	130Bs	(舊斗) 37502				
	1K			奉天附近	交戦セズ	
	30A (柳河)	148D	(竈) 37322		新京附近	交戦セズ
		138D	(不動) 37257		海龍附近	交戦セズ
		39D	(藤) 6861 6864 6865 6866 6868 6869	6870 6871 6872 6874 6876		
125D		(瓦) 15240	15241	通化附近	交戦セズ	
機 1				二林附近	交戦セズ	

17HA (京城)	7 9 D	(泰) 21151 21164 21152 21162 21153 21166 21154 21167 21163 21168 21156 21169 21158 21165 21160 21161	羅南附近	一部交戦
	5 9 D	(水) 2351 3041 42P1 3042 42P2 42P0 42P3 42P9 42P4 3311 42P5 42P7 2353 2354 42P6 3040	西湖附近	交戦せず
	1 3 7 D	(天翼) 37237	平壤附近	交戦せず
	1 1 3 Bs		元山附近	交戦せず

備考

1. 部隊所在地へ開戦前、状況ナルルツキ若干部隊、移動アルモノ予見ナル
2. 国境=直接配備セララル部隊(監視哨、小部隊等)へ概ネ互撃アルモノ
如シ
3. 機ハ機械化旅団、国ハ国境警備シタケル

(樺太方面兵団概見表)

方面軍	軍	兵団番號	通 稱 部 隊 名	所在地	交戦別
		88 D	(要) 22P51 22P54 22P1 22P55 22P2 22P56 22P52 22P57 22P53 22P58 22P59	88D主力 豊原附近 125c 国境附近 306c 大泊附近 25c一部 内路附近	一部(125c)交戦

局長

参考情報乙第五十五號

總務部

人事課長

人事課長

局長

局長

局長

局長

資料課 昭二一七二一三

文書課長

文書課長

21.7.23
主簿

昭二一年七月廿三日

810

人事

二十八日資料課配布の参考情報乙第四十八號、消信送報第七號の
附表「ソ軍の進入に伴ふ各部隊の戦況」を次の表に依つて訂正相
成度

前今後とも判明次第引續き訂正資料を御送り致します又箇々の部隊の
戦況は別紙に於て概況一覽表に就き御承知下さい

3493
300
1081
600
2112
7548

人事
21.7.23
総務

1418

東軍司令部(新京) 德

158D(増補)(不滅) 37361 新京
機/旅 (速) 25221-25224 吉林
(岩) 3600 延吉

1HA
(鏡)
1448
牡丹江
↓
敦化へ

19D
120D
128D
128A
132B

S A (城) 5033

牡丹江

124D

松陽附近→穆稜站

126D(3K改)

東安附近→林口へ

135D(77改)(眞心) 25252-25261 平陽附近→穆稜

第15國境守備隊

122D

134D(78改)(勾玉) 25263-25272 佳木斯附近→方正へ

139D

108D

錦州、遼陽附近

136D

撫順附近

3HA
(強)
9338
奉天

79BS(増補)(丈夫) 25274-25284 安東附近

130BS

134BS (奮闘) 37552-37561 臨江附近

140BS(1K訂正)(追) 13041-13047 奉天

171K
171D(増補)(命) 4392

108Dと行動を共にす

30A
39D
125D
138D
148D

(叡) 15206

柳 河
梅河口附近

44A
63D
107D
117D

(遠征) 14001

遼源→奉天へ
通遼→奉天へ

9TKBS (春迅) 37606

王爺廟→四平へ

4A (光) 4455

チチハル

119D
123D
149D
80BS
131BS
135BS (5國改)
136BS

(不詳) 37341-37344

34A (呂展武)

武興
武興附近

59D
137D
133BS (福壽) 37534

(113BS 訂正)

千 島 方 面

89D (推) 23001

擧 擧 捉

12644-12649
12694-12699

色丹 國後

12609
12623-12629
23011-23013
23003-23006
23009

91D

(先) 12640

幌延、占守

12671-12676
12661-12669
12682-12693
497、12084

129BS

(高嶺) 12637

得撫島

12639, 12677-12679
13606-13610

411S

(達) 13511

松輪

1421